米国テロ

「熱風迫り人々半狂乱」

新庄の岸さんへ 空手の弟子電話 惨事生々しく

ニューヨークでのテロの様子を伝え聞いた岸さん夫妻＝新庄市北町で

「人々は狂ったように駆けてきた」「とにかく熱かった。離れたところでも熱風だった」。新庄市北町で空手道場を開いている岸信行さん(53)と妻パトリシアさん(50)のもとに、ニューヨークの世界貿易センタービル近くに居合わせた空手の弟子2人が生々しい様子を電話で伝えてきた。

2人はマット・ウイーガンさん(27)とスティーブン・ピーターさん(42)でいずれも証券マン。

ウイーガンさんは同ビル地下にある駅から職場である証券取引所に向かおうとしていた。人々が狂ったように駆けてきた。何が起こったか分からなかったが、みな完全にパニックになっていた。人の流れに巻き込まれたら危ないと感じ、人がいない方に向かった。

「ドーン」。10分もしないうちに2機目がビルに突っ込んだ音が聞こえた。職場にたどり着いて、まず水を飲んだ。タオルを水に浸して口、鼻を覆って現場から逃れた。

空手で身につけた平常心が役立った、という。また、あの威容を誇ったビルが消えてなくなったことが、今でもどうしても信じられないと話した。

一方、ピーターさんはすでに証券取引所にいた。テレビを見ていてテロを知った。飛び出して、300㍍ほど離れた自宅マンションに向かった。熱風で焼かれるように熱かった。妻マーゴさんと生後1カ月の長男サミュエルちゃんを抱え、犬のナッシーを引っぱって駐車場まで走った。

車で郊外の別荘に逃れた。現場近くに戻れないため、自宅がどのようになっているかは分からないと言う。

2人は、12日未明と昼前に、空手の師である岸さんに電話で知らせてきた。岸さんは何度も連絡を取ろうとしたが、つながらなかったという。

岸さんは「あのビルの屋上のバーで飲んだこともあり、こんな高層ビルで何かあったらどうするんだと感じたこともあった。それなのに航空機が突っ込むとは」と信じられない様子。現場近くで勤務したパトリシアさんも「あのビルはアメリカの象徴で、目標になるとは思っていた。でもほどの惨劇になるとは思っていた。すぐそばに公園などがある場所なのに」と話した。

安否確認の窓口、県が設置

高橋知事 帰国できず

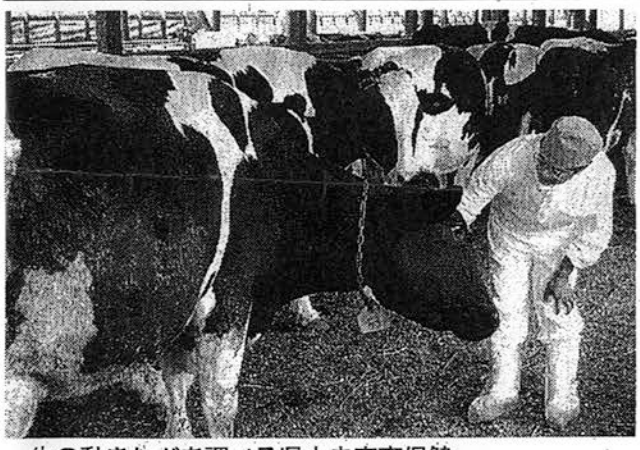
米国の同時多発テロ事件で、県国際室は13日も県内関係者の安否確認に追われた。留学や海外旅行で米国に滞在中の県関係者約200人のうち、連絡がつかない14人を除き無事を確認した。一方、コロラド州との姉妹交流記念事業で訪米中の高橋和雄知事ら11人は、空港閉鎖のため帰国のめどが立たず、引き続き州都のデンバー市にとどまっている。

県国際室は、県民の安否を確認するための問い合わせ窓口を設置。渡米中の家族らと連絡が取れなくなっている県民から相談を受け、同室が外務省に確認を依頼する。受付時間は平日午前8時半～午後5時で、18日午前0時までは24時間受け付ける。問い合わせは（023・630・2123、2124、ファクス023・624・9908）へ。

肉牛4万頭、乳牛1万6000頭

狂牛病検査始める

県畜産振興課



牛の動きなどを調べる県中央家畜保健衛生所の専門職員＝山形市内の牛舎で

千葉県で狂牛病（牛海綿状脳症）に感染した疑いのある乳牛が確認された問題で、県農畜産振興課は13日、県内すべての飼育農家を対象に立ち入り調査を始めた。

県内では今年2月1日現在、約2千戸の農家が、肉牛約4万頭、乳牛約1万6千頭を飼育。今回の調査では、県内4つの県家畜保健衛生所の専門職員が約10日にわたって、①立ち上がれない②音に異常に反応する――など、狂牛病特有の症状がある牛がいるかどうかを調べる。

「米沢牛」の産地である置賜地域でもこの日から、飼育農家への立ち入り検査が始まった。米沢市や長井市など3市5町を担当する県置賜家畜保健衛生所（南陽市）によると、立ち入り検査の対象となる農家は、乳

30人学級

山形市議会9月定の一般質問で13日、和雄知事が実現を打した「30人学級」について、相田良一教育「市教委としては学増加に伴う教室の確最大の課題」と述べ政支援を県に要望く考えを明らかに

第54回秋季東北地区高校野球県大会組

山形東 16日大① 9:00
岡 15日新①10:00
山形商 22日新①10:00
楯岡 15日大②13:20
酒田工 23日新①10:00
鶴岡 16日大②11:20
米沢中央 22日新②12:20
山形中央 15日新②12:20
新庄東 16日大③13:40
小国 24日新②12:20
寒河江 15日新③14:40
酒田南 22日大①10:00
米沢商 16日新① 9:00
酒田西
羽黒